

## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境と共生できる産業の支援			款	3	項	5	目	1	事業	5	整理番号	95				
担当部課名		区民生活部産業経済課			係名	産業支援・相談係		連絡先電話番号		3076		昨年度整理番号	94					
上位施策No・施策名										44 新しい産業の育成・支援		予算事業区分		既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	3	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	2	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 みどりの産業分野で創業を予定している個人、もしくは法人、または創業3年未満の個人・法人。求職者・事業者。																
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○創業支援 杉並区内で創業、起業したいという気運を高める事により、都市型ビジネス事業者の開業を促す。 ○就労相談 求職者に対し自己に適した職業選択や就労に関する様々な相談・情報提供を行い、就職に結びつける。																
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	○創業予定者及び創業後間もない人に対するSOHO事務所の貸与 ○ハローワーク新宿、東京商工会議所、中野区との共催で就職面接会を企画、運営。杉並区の求人活動・就職活動を支援する。 ○就労に関する専門相談員（キャリアカウンセラー）を配置した就労相談を毎週行い、自己に適した職業選択や就労に関する様々な相談・情報提供に応じる。																
根拠法令等		(1) 杉並区創業支援施設運営要綱 (2) 職業安定法																
活動指標名(式)		(1) 講座・セミナー実施回数 (2) 就労相談実施回数																
成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標																
成果指標名(1)		講座・セミナー参加者数																
算定式・指標の説明等																		
成果指標名(2)		就労相談利用者数																
算定式・指標の説明等																		
区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
		実績	計画	実績	計画	実績	計画											
指標	活動指標(1)	①	回	8	4	10	4	10	5	200.0	250.0							
	活動指標(2)	②	日	51	52	48	48	48	48	100.0	100.0							
	成果指標(1)	③	人	171	200	137	200	210	200	105.0	105.0							
	成果指標(2)	④	人	129	312	143	288	148	300	49.3	51.4							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	12,387	11,324	10,364	12,222	10,877	10,945	21年度予算執行率% 89.0								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 就職面接会に使用するパーティションについて、当初1回毎にリースする予定であったが、次回以降の活用を考え、購入に切り替えたため								
	(内)委託費	⑦	千円	2,645	4,874	4,554	4,790	4,713	3,561									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.89 0.00	1.80 0.00	1.90 0.00	1.80 0.00	1.96 0.00	1.30 0.00									
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	17,275	16,290	17,195	15,982	17,403			11,543						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	29,662	27,614	27,559	28,204	28,280	22,488									
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	3,707,750	6,903,500	2,755,900	7,051,000	2,828,000	4,497,600									
	財源	受益者負担分	⑬	千円	3,111	3,111	2,976	3,243	2,970			2,943						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0						
		都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0			0						
		その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0			0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	3,111	3,111	2,976	3,243	2,970	2,943									
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	26,551	24,503	24,583	24,961	25,310	19,545									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	10.5	11.3	10.8	11.5	10.5	13.1										

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 95

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	セミナー(起業支援セミナー、経営セミナー等)業務委託	4	回	1,702
		就労相談業務委託	48	日	1,667
		阿佐谷キック・オフ/オフィス運営	9	室	7,508
		その他 ( )			0
	(2)事業実績	キック・オフ/オフィスは、入居期限満了で空室が発生すると入居希望者が必ず有り、常に満室の状況が続いています。起業支援セミナーは、中小企業診断士等の専門家を講師として起業を目指す方々に役立つ実践的な講義内容で実施しました。就労相談 専門相談員(キャリアカウンセラー)が区民の就労等に関しアドバイスをを行い、就労支援を行います。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	阿佐谷キック・オフ/オフィスは、JR阿佐ヶ谷駅近接という立地条件及び施設内の情報通信環境も整備されており、入居者から好評です。入居者の事業分野は、情報通信・コンピュータソフトなどが多く、入居者同士の仕事のやりとりもあります。入居者のうち、8事業者が区内で起業しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	起業家養成講座は受講者によって起業意識に差があるため、受講者のニーズにあった講座内容が望まれています。また、講座参加者からは、区からの援助・委託事業などを期待する声があります。就労相談では、履歴書の書き方や面接のノウハウなど、実践的な指導により就職に役立ったとの声が寄せられています。			
	今後の予測	会社創業時の資本金額の要件緩和や団塊世代の大量退職などにより、起業を目指す人は今後、増えていくことが予測されます。このような状況に区として対応し、支援をしていくために当事業の必要性はますます高まるものと考えられます。また、世界的不況の中で求人倍率の急激な向上は望まず、就労相談の役割は増すものと推測されます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	就労相談・就職面接会は、求職者を支援することで社会全体の産業経済の基盤整備に貢献しています。SOHO施設は起業間もない方々の事務所提供・インキュベーションマネージャーの相談受付など入居者のサポートを行っています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	22年度は、「起業支援セミナー」に代わり、21年度から開催の「就職面接会」を充実させていきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	講座・セミナーの参加者からすでに参加費を徴収してきました。専門家による連続講座のため、額も適切であると考えます。就労相談・就職相談会については対象者の状況から負担を求めるのは難しいです。			
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	NPO等に事業の委託を行ってコストの低減を図っています。予算の範囲内で内容の充実を図っていきます。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	杉並区独自の就労相談を行っていますが、具体的な職業あっせんは行っていないため、事業内容の充実した東京しごとセンター、ハローワーク新宿の事業にうまく繋げていく工夫をしていくことが求められます。阿佐谷キック・オフ/オフィスは、経営が厳しくなった事業所を救う手立てや、利用期間終了後引き続き区内事業者となるための方策など、今後のあり方を検討します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	阿佐谷キック・オフ/オフィスの募集要件に「利用期間終了後、区内で引き続き事業を行おうとする意思があること」という項目を追加しました。インキュベーションマネージャーが経営のノウハウなどの相談を受けるなど、入居者の支援をしました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	「すぎなみで働こう」キャンペーンと銘打ち、ハローワーク新宿、東京商工会議所、東京しごと財団、中野区との合同開催や介護保険課と協力して年に数回、面接会やセミナーを開催します。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	一回の求人会社数が5~20社となっていて、多様な業種とは言いがたいのが現状です。ハローワークとの連携を強めて、多種多様な会社求人を提供します。								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	就労の問題は社会でも大きな問題と言えます。就職面接会・就労相談の内容を充実し、キック・オフ/オフィスの運営継続により、引き続き起業家や創業後の事業者の支援を行います。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		アニメの杜すぎなみ		款	3	項	5	目	1	事業	6	整理番号	96							
担当部課名		区民生活部産業経済課		係名	地域産業観光係			連絡先電話番号	3077		昨年度整理番号	95								
上位施策No・施策名										44	新しい産業の育成・支援		予算事業区分	既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	3	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	3	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民、アニメ産業関係者、アニメーターを目指す人、アニメに関心のある人																		
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 区内外を問わず多くの人々がアニメーションに関心を持ち、親しんでもらえる機会を提供することにより、「アニメのまち杉並」としての知名度を高め、アニメ産業の振興を図る。																		
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○アニメーションフェスティバルの開催 ○区内アニメ制作会社の協力によるインターンシップ制のアニメーター育成事業「杉並アニメ匠塾」の実施 ○東京国際アニメフェアへ出展し、アニメのまち杉並を広くPRする。 ○区公式アニメキャラクター「なみすけ」を活用し、区内外への区の施策や区のアニメ産業振興に係る情報発信																		
根拠法令等		(1) (2)																		
活動指標名(式)		(1) アニメーションフェスティバル来場者数 (2) 研修受入数																		
成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標																		
成果指標名(1)		アニメーションフェスティバル来場者数																		
算定式・指標の説明等																				
成果指標名(2)		研修修了者の内、実際にアニメ制作会社に就職した人数																		
算定式・指標の説明等																				
区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%									
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画(目標値)											
指標	活動指標(1)	①	人	8,174	8,000	13,011	8,000	10,516	9,000	116.8	131.5									
	活動指標(2)	②	人	7	8	8	8	7	8	87.5	87.5									
	成果指標(1)	③	人	8,174	8,000	13,011	8,000	10,516	9,000	116.8	131.5									
	成果指標(2)	④	人	4.0	7.0	8.0	7.0	6.0	7.0	85.7	85.7									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	44,736	42,967	42,637	21,220	20,102	16,820	21年度予算執行率%		94.7								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項										
	(内)委託費	⑦	千円	35,089	33,599	33,299	13,517	12,400	9,620											
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.22 0.00	2.00 0.00	2.28 0.00	2.00 0.00	2.25 0.00	1.60 0.00											
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	20,291	18,100	20,634	17,758	19,978	14,206										
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0											
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	65,027	61,067	63,271	38,978	40,080	31,026											
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	7,955	7,633	4,863	4,872	3,811	3,447											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	648	0	490										
		国からの補助金等	⑭	千円	2,000	1,000	2,000	0	0	0										
		都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0										
		その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0										
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	2,000	1,000	2,000	648	0	490											
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	63,027	60,067	61,271	38,330	40,080	30,536											
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.6												

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 96

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	杉並アニメ匠塾運営業務委託				3,347
	アニメーションフェスティバルの共催	1	回		6,043
	東京国際アニメフェアへの出展	1	回		2,174
	アニメキャラクター普及				7,145
	その他(需用費など)				1,393
(2)事業実績	アニメキャラクター「なみすけ」による産業振興の一環として、コンビニエンスストアでの「なみすけパン」「なみすけグッズ」等の期間限定販売を実施しました。また、「上井草ガンダムスタンプラリー」では、地元商店街、西武鉄道と連携して実施することにより約5,000人の来街者を呼びました。一方、「杉並アニメ匠塾」を実施し、アニメーターの育成を図るとともに、アニメーションの作成過程をわかりやすく紹介した冊子「すぎあに」を作成し、広くアニメ産業への関心を喚起しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「アニメの杜すぎなみ構想」を立ち上げた当初は、ほとんどの区民が「アニメ」というコンテンツに対し認識を持ち合わせていませんでした。しかし、アニメーションフェスティバルの開催や杉並アニメ匠塾などの実施により、区民の間で「アニメのまち杉並」というイメージが確立されつつあります。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	マスコミ等の影響で、区内外を問わず「アニメのまち杉並」のイメージが定着したことにより、まちづくりのアイテムとして「アニメ」を取り入れる地域イベント等が増えました。特に、平成18年度に公募により生まれた区のアニメキャラクターは、子育て世代の区民にとって区の施策PRに有効なアイテムとなっており、アニメキャラクターを活用した事業の実施を期待しています。			
	今後の予測	アニメフェスティバルの開催や人材育成、そしてキャラクターの活用など、杉並区が先駆的に始めたアニメ施策は、近隣区市や都から全国へと広がり始め、この傾向は今後も続く予測されます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	杉並アニメーションミュージアムを拠点として、イベントやワークショップを実施しました。また、杉並アニメ匠塾を実施し、将来のアニメーション産業を支える人材の育成を支援するなど、アニメの杜すぎなみ構想を推進しました。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	ミュージアムやモニュメントを設置した上井草地区などアニメに関わる資源がある地域を連携することにより、アニメ観光ルートの構築など、新たな展開を図ることができます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	ワークショップ実施時の材料費やモニュメントの維持管理など、受益者負担による事業を実施しています。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[対象の縮小](具体的内容→)	アニメキャラクターを活用した事業については、収益以上にコストがかかっています。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	「アニメの杜すぎなみ構想」のもと、地場産業であるアニメーション産業の振興・支援としてアニメーションミュージアムの開設、アニメキャラクター「なみすけ」誕生など、アニメに関する情報発信に成果を上げることができました。施策への取組から11年目を迎え、これまでの成果を踏まえ、今後のアニメ産業振興施策のあり方についての見直しが課題です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	なみすけパンとナミーパン、なみすけグッズをコンビニエンスストアで販売しました。グリーン東京ガンダムフェスティバルの開催時期に合わせて実施された上井草ガンダムスタンプラリーに協力しました。スタンプラリーのチェックポイントにアニメーションミュージアムを設定することで、アニメーションミュージアムの来館者が増加しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	アニメを活用した観光事業を模索するため、上井草地区のガンダムモニュメントとミュージアムを結ぶ観光ルートづくりを検討していきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	アニメを観光資源としてまちおこしを行うためには、地域全体がアニメに対する関心を持つことが必要ですが、地域全体には浸透できていません。また、アニメに関しては著作権に関する大きな問題が障害となっており、キャラクターを用いたグッズ販売など容易には展開できません。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	アニメの杜すぎなみ構想の見直しを控え、現時点では予算見積の方向性は未定です。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		アニメーションミュージアム運営			款	3	項	5	目	1	事業	7	整理番号	97		
担当部課名		区民生活部産業経済課			係名	地域産業観光係			連絡先電話番号	3077		昨年度整理番号	96			
上位施策No・施策名											44	新しい産業の育成・支援		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			区民、アニメ産業関係者、区外来場者		根拠法令等		(1)		(2)					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			幼児から中高年まで幅広い世代にアニメを親しむ機会を提供し、アニメに対する関心を高めてもらうとともに、「アニメのまち杉並」を広くアピールしていく。		活動指標名(式)		(1) 年間来場者数		(2) 開館日数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○アニメの歴史、制作工程や技法などの紹介映像等を常時展示公開する。 ○アニメ制作が体験できるワークショップなどの開催 ○アニメの常時上映(150インチアニメシアター)と様々なアニメが鑑賞できるライブラリーの開設 ○四半期ごとに著名なアニメ作品に係る企画展などの開催やそれに伴う版權調整(日本動画協会に運営を委託)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 1日あたり来場者数		算定式・指標の説明等			
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)						
指標	活動指標(1)	①	人	50,214	50,000	53,785	50,000	57,928	55,000	105.3	115.9					
	活動指標(2)	②	日	307	306	305	306	306	303	101.0	100.0					
	成果指標(1)	③	人	164	164	177	164	189	180	105.0	115.2					
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	66,491	76,431	75,276	67,904	66,225	63,886	21年度予算執行率%		97.5				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	⑦	千円	56,966	61,587	60,902	59,249	58,567	56,163							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.11 0.00	1.00 0.00	1.14 0.00	1.00 0.00	1.13 0.00	1.00 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,145	9,050	10,317	8,879	10,033	8,879						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	76,636	85,481	85,593	76,783	76,258	72,765							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,526	1,710	1,591	1,536	1,316	1,323							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	2,000	1,000	1,000	0	0	0						
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0							
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	2,000	1,000	1,000	0	0	0							
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	74,636	84,481	84,593	76,783	76,258	72,765							
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 97

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	アニメーションミュージアム運営業務委託			47,575
	ミュージアム広告物掲示業務委託及びホームページリニューアル業務委託等			1,877
	建物総合管理委託			8,881
	光熱水費			552
	その他(資料収集・通信運搬費・広告料・賃借料ほか)			7,340
(2)事業実績	商店街、西武鉄道と連携し上井草エリアで実施したガンダムスタンプラリーにチェックポイントとして3回参加しました。ガンダム企画展、「ガンダムと上井草」ミニ企画展も実施し、地域や関係団体との連携により来館者を増やすことができました。また、出張ワークショップや高齢者対象のワークショップを実施し、修学旅行など区外からの来館者を積極的に受入れるなど、新たなアニメファンの発掘に取り組みました。さらに、アフレコブースの素材を更新しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成16年度末に、杉並区のアニメーション産業振興の核となる施設として「杉並アニメ資料館」から「杉並アニメーションミュージアム」としてリニューアルオープンしました。同時に事業の拡充に伴い、運営を「日本動画協会」に委託しています。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	アフレコブースやライブラリーなどの常設コーナーの他、企画展、ミニ企画展、ワークショップ、各種イベントの来場者の満足度は高いといえます。一方で交通不便な立地条件への不満や、大型バスが長時間駐車できる場所の確保などの要望があげられています。		
	今後の予測	杉並会館は築40年以上が経ち、その老朽化がさらに進むと予測されます。展示施設としてのあり方について、検討が求められます。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	区内小中学校の課外授業や職場体験のほか、修学旅行や海外からの見学者が年々増えています。また、多様なワークショップを開催し、アニメに対する理解を深める機会を提供しています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	企画展について、さまざまなアニメ制作会社から提案を受けることによって、より質の高い展示が期待できます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	ワークショップの材料費やトークショーなどのイベントなどの経費の実費分について、受益者の負担を見直す余地があります。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	すでに限界までコストを下げており、これ以上の削減は来場者数の減少につながります。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	来場者は、開館以来増加傾向を示しており、最近では修学旅行の学生や体験事業の受入れ又はアニメに興味を持つ海外からの来館者など、区外の来館者が増えています。今後は、これら区外の来館者もリピーターとなるような展示企画を展開していくなど、区内外に対し、アニメのまち杉並の知名度向上を図るとともに、アニメーションミュージアムがアニメに関する情報の発信地となれるように、常に情報収集に努めていきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	各アニメ制作会社からも今までの実績の評価をされており、企画展やイベント、さらにミニ企画展などの充実を図ることができました。また、スタッフの熱意もあり多様なワークショップを開催し、来場者からも人気を得ています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういつかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	今後も、日本動画協会を中心に各アニメ制作会社に働きかけ企画展やイベント、ワークショップなどの充実を図っていきます。一方、女子美術大学などと連携をとりミニ企画展やイベント、ワークショップなどの開催を模索していきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	ミュージアムの集客に欠かせないアニメ作品の企画展示では、著作権が絡んでいるため自由に企画を立てることができません。業界とのつながりが深い日本動画協会に企画運営を委託することで、著作物の使用に関する調整が円滑に行えるため、著名な作品の展示が可能となります。								
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	開館から6年が経ち、プロジェクトーをはじめとした機器類が耐用年限を迎えているため、それらの更新が必要になります。							